

学会発表

(国内学会)

第13回中国セロトニン(5-HT₂)研究会

2008年3月8日 広島市

- (1) 5-HT_{2A}受容体アンタゴニスト経口投与による神経因性疼痛発症抑制
西尾廣昭、藤井洋光、土谷大樹

日本農芸化学会 2008年度大会

2008年3月26日～29日 名古屋市(名城大学天白キャンパス)

- (1) デンプン枝切り酵素の基質特異性発現機構
岩本博行、掛谷真伍、前野友香、竹内 優、廣瀬順造、三輪泰彦、勝矢良雄

日本薬学会第128年年会

2008年3月26日～28日 横浜市

- (1) アザ6 π 電子系電子環状反応によるBenzo[c]phenanthridine alkaloidの合成研究
河野覚次郎、町支臣成、藤井かおり、延廣順子、日比野俐
- (2) 2-アザアントラセンWJ85の合成研究
大山佳香、町支臣成、中村理恵、延廣順子、日比野俐
- (3) 抗アレルギー作用を有する β -カルボリンアルカロイドDichotomine類の合成研究
- (4) 脳神経細胞保護作用を有するcarbazomadurin A, Bの合成研究
稗田雄三、町支臣成、寺本佳織、古川直樹、延廣順子、日比野俐
- (5) ビフェニル架橋をもつ新規ビスサイクレン亜鉛(II)錯体の合成とその性質
岸田早由利、藤岡晴人、小池 透、木村榮一
- (6) Gallocatechin gallate, Epigallocatechin gallateと各種シクロデキストリンによる包接錯体形成反応
石津 隆、堤 広之、梶谷真也、山本英二
- (7) 初代培養ラット肝細胞系におけるデキストラン硫酸による肝性リパーゼの分泌促進
木下千恵美、虻川内理恵、森田哲生
- (8) プラゾシンによる初代培養ラット肝細胞からの肝性リパーゼの分泌促進
中村徹也、虻川内理恵、木下千恵美、森田哲生
- (9) *Cinchona ledgeriana*エンドファイト糸状菌の構成
前原昭次、中熊辰徳、池田通輝、北村千浪、大橋一慶、澁谷博孝
- (10) チオール類に対する蛍光誘導体化試薬4-(5,6-ジメトキシ-2-フタルイミニジル)-2-メトキシフェニルスルホニルアジリジンの開発
藤方智也、井上裕文、古謝景子、鶴田泰人
- (11) 血漿中遊離型パロキセチンの高感度蛍光プレラベルHPLC分析に関する基礎的研究
古謝景子、原田拓也、井上裕文、江藤精二、鶴田泰人

- (12) ベンゾ【a】ピレン及びベンゾ【a】ピレン代謝物の輸送におけるP-糖蛋白質関与の検討
中谷吏菜、杉原成美、古野浩二
- (13) Caco-2細胞におけるN-アセチル5-ASAの排出に対するフラボノイドの阻害効果
河野健太郎、吉村 真、杉原成美、古野浩二
- (14) P-糖蛋白質阻害活性発現のためのカテキン構造の検討
杉原成美、筒井祐介、町支臣成、延廣順子、日比野俐、古野浩二
- (15) 腎不全モデルラットにおける高血圧治療薬オルメサルタンの抗酸化能評価
門脇大介、安楽 誠、田口和明、田先由佳、丸山 徹、小田切優樹
- (16) 溶出液によりゲル化するキトサン含有錠剤の薬物放出性
古谷暢子、森重祐次、藤井裕輔、佐々木達也、安楽 誠、富田久夫
- (17) 幼児・高齢者との交流学习がコミュニケーション能力向上に及ぼす効果
田中正孝、吉富博則、鶴田泰人、岡村信幸、小野行雄、藤岡晴人、田村 豊、町支臣成、田中哲郎、安楽 誠、土谷大樹、五郎丸剛
- (18) 健常人における酸化ストレスに対する低分子キトサンサプリメントの影響
安楽 誠、樺島三樹絵、苗村ひとみ、門脇大介、丸山 徹、Gebicki J.M.、古谷暢子、小田切優樹、富田久夫
- (19) LC-MSによるヒト血清中の2-Arachidonoylglycerol及びAnandamideの定量
新免 恵、内野めぐみ、本屋敷敏雄、五郎丸毅
- (20) 調剤精度と物性に着目した散剤後発医薬品の品質評価
五郎丸剛、松浦 縁、妹尾啓司、江藤精二
- (21) 神経因性疼痛モデルラットにおける5-HT_{2A}受容体アンタゴニストの痛覚過敏発症抑制作用
藤井洋光、土谷大樹、横山俊太、西尾廣昭
- (22) セロトニンによるマウス骨芽細胞系MC3T3-E1細胞の細胞増殖作用
兼重康太、土谷大樹、平居貴生、岡田智行、西尾廣昭
- (23) Valproic acidとL-carnitineの相互作用(2)
波多江智美、安田愛美、神代幸子、水上皓喜、峯駒美子、中村光宏、野口賀代、片山博和、吉田久博、神谷 晃
- (24) 肺からの薬物吸収に関する研究(8) -NO供与体の影響-
奥野義規、猪俣育夫、森 史衣、山根祐子、波多江智美、片山博和
- (25) 肺胞上皮細胞RLE-6TNにおけるインスリンの輸送機構解析
小田啓祐、湯元良子、田川茉希、永井純也、片山博和、高野幹久

第82回日本感染症学会総会

2008年4月17日～18日 島根

- (1) 回帰熱ボレリアのddRT-PCR法による遺伝子発現解析
田淵紀彦、福長将仁

第69回分析化学討論会

2008年5月15日～16日 名古屋市

- (1) 4,5-ジメトキシフタルアルデヒドを用いるサルファ剤の蛍光ブレイクレベルHPLC分析に関する基礎的検討
武良卓哉、古謝景子、井上裕文、鶴田泰人

日本薬剤学会第23年会

2008年5月20日～23日 札幌市

- (1) クラスターデキストリンを用いた生分解性ナノ粒子の調製と評価
田口恭子、廣瀬寛子、鶴田千博、丸山正義、野崎美紀、田中哲郎、金尾義治
- (2) 疎水性高分子のナノ粒子形成による難溶性薬物の可溶化と運搬
山本繁史、柿木充史、西口晶子、山本愛理、田口恭子、田中哲郎、金尾義治
- (3) 肺胞上皮細胞RLE-6TNにおけるインスリンの輸送機構およびポリアミノ酸の影響解析
小田啓祐、湯元良子、田川菜希、永井純也、片山博和、高野幹久

第16回ダニと疾患のインターフェースに関するセミナー

2008年5月30日～6月1日 和歌山

- (1) ツツガムシのミトコンドリア遺伝子解析
三谷春美、福長将仁

第18回金属の関与する生体関連反応シンポジウム

2008年6月5日～6月6日 名古屋市（名古屋市立大学・医学部）

- (1) Halogen Ions Activate or Inhibit the Peptidase Activity of Aminopeptidase B.
J. Hirose, Y. Okazaki, N. Morishita, H. Iwamoto, and K. M. Fukasawa

第2回瀬戸内薬セミナー

2008年7月18日～19日 尾道市

- (1) 茶に含まれるガロカテキンガレートとカフェインの相互作用の解明
石津 隆、堤 広之、梶谷真也、山本英二*
- (2) ガロカテキンガレート、エピガロカテキンガレートと γ -シクロデキストリンによる包接錯体形成
石津 隆、堤 広之、佐藤 隆
- (3) キナルカロイド・ペプチド錯体を用いた新規抗マラリア薬の創薬研究
石津 隆、堤 広之、向田浩典

第22回キチン・キトサンシンポジウム

2008年8月5日～6日 新潟市

- (1) キトサンサプリメント摂取による抗酸化作用の検討

安楽 誠、藤井 武、門脇大介、丸山 徹、小田切優樹、古谷暢子、富田久夫

第20回微生物シンポジウム

2008年9月3日～4日 岐阜 長良川

- (1) 回帰熱ボレリア新規蛋白質p35の同定

田淵紀彦、豊田栄司、福長将仁

日本分析化学会 第57年会

2008年9月10日～12日 福岡市

- (1) 血清中ホモシステインの高感度HPLC分析に関する基礎的検討

藤方智也、井上裕文、古謝景子、鶴田泰人

第41回日本薬剤師会学術大会

2008年10月12日～13日 宮崎市

- (1) 健康相談窓口としての薬局に対する地域住民の期待と薬剤師の意識に関する調査

横田いつ子、金光瑞恵、田辺ナオ、中 壽美、恵谷展幸、串田慎也、山岡紀子、
杉原成美、中谷吏菜、浦松亜衣

- (2) 低カルニチン血症時のバルプロ酸の体内動態

波多江智美、安田愛美、水上皓喜、片山博和

第61回日本細菌学会中国・四国支部総会

2008年10月18日～19日 愛媛

- (1) ダニ媒介性回帰熱ボレリア *Borrelia duttonii* 菌体表層蛋白質P35の同定

豊田栄司、田淵紀彦、福長将仁

第67回日本癌学会学術総会／第46回日本癌治療学会総会

2008年10月28日～11月1日 名古屋市

- (1) マウス乳癌FM3A細胞におけるL-アルギニンの細胞増殖効果及びリポ蛋白質リパーゼの分泌促進効果

虻川内理恵、森田哲生

第24回¹³C医学応用研究会

2008年10月24日～25日 東京都

- (1) NMRによる¹³C-標識カフェインおよびテオフィリンのヒト尿中代謝物の測定

五郎丸毅、柿原良枝

第23回日本薬物動態学会年会

2008年10月31日～11月2日 熊本

- (1) 健常人におけるキトサンサプリメントの抗酸化作用について
安楽 誠、藤井 武、門脇大介、丸山 徹、小田切優樹、JM. Gebicki、
古谷暢子、富田久夫
- (2) In vivoにおける酸化アルブミンを利用したオルメサルタンの抗酸化能評価
門脇大介、安楽 誠、田先由佳、田口和明、北村健一郎、下石和樹、丸山 徹、
小田切優樹
- (3) 連続投与時におけるヘモグロビン小胞体の体内動態評価
田口和明、浦田由紀乃、安楽 誠、丸山 徹、門脇大介、甲斐俊哉、小林紘一、
土田英俊、小田切優樹
- (4) 疎水性ポリビニルアルコールを用いたアムホテリシンBナノ粒子の調製
山本繁史、鳥越進策、田口恭子、田中哲郎、金尾義治
- (5) 肺胞Ⅱ型上皮細胞RLE-6TNにおけるインスリンの輸送特性及びポリアミノ酸の影響
小田啓祐、湯元良子、永井純也、片山博和、高野幹久

第34回反応と合成の進歩シンポジウム

2008年11月4日～5日 京都市

- (1) 脳神経保護作用を有するcarbazomadurin A, Bの合成研究
稗田雄三、町支臣成、東 修平、日比野俐

第47回日本薬学会・日本薬剤師会・日本病院薬剤師会中国四国支部学術大会

2008年11月8日～9日 岡山市

- (1) β -カルボリンアルカロイド・Dichotomine類の不斉合成研究
渡邊司郎、町支臣成、大村華菜、東 修平、日比野俐
- (2) 2-アザアントラセンWJ85およびWJ85bの合成研究
大山佳香、町支臣成、東 修平、日比野俐
- (3) 脳神経保護作用を有するcarbazomadurin A, Bの合成研究
稗田雄三、町支臣成、東 修平、日比野俐
- (4) ガロカテキングレート、エピガロカテキングレートと α 、 β 、 γ -シクロデキストリンとの包接錯体形成反応
石津 隆、堤 広之、佐藤 隆、山本英二、原野一誠
- (5) デキストラン硫酸による脂肪組織からのリポ蛋白質リパーゼの分泌に対するプロテインキナーゼの関与
三上徹也、木下千恵美、螻川内理恵、森田哲生
- (6) アミン標識用蛍光誘導体化試薬F-trap Fmocの開発
井上裕文、古謝景子、轟木堅一郎、吉田秀幸、能田 均、山口政俊、鶴田泰人
- (7) ポリビニルアルコールのナノ粒子形成によるアムホテリシンBの可溶化と運搬
山本繁史、鳥越進策、山城日香里、田口恭子、田中哲郎、金尾義治

- (8) クラスターデキストリンを用いたDDS研究—(1)生体分解性高分子担体としての利用—
金尾義治、田口恭子、田中哲郎
- (9) クラスターデキストリンを用いたDDS研究—(2)アムホテリシンB内包ナノ粒子の調製と評価—
田口恭子、大島瑛子、花岡幸代、田中哲郎、金尾義治
- (10) 各分子量キトサンの多面的レドックス特性及びその評価
藤井 武、安楽 誠、古谷暢子、丸山 徹、小田切優樹、富田久夫
- (11) チモロールによる炭酸脱水酵素活性の活性化機構
杉本文子、池田博昭、塚本秀利、木平健治、廣瀬順造、秦 季之、小野行雄
- (12) 同位体希釈分析法による2-ArachidonoylglycerolおよびAnandamideの血清および血漿中濃度の測定
新免 恵、本屋敷敏雄、五郎丸毅
- (13) 調剤精度に着目した散剤後発品の品質評価
妹尾啓司、松浦 縁、中山やちよ、五郎丸剛、江藤精二
- (14) ニトログリセリン誘発性痛覚過敏に対する5-HT_{2A}受容体アンタゴニスト及びGabapentinの影響
藤井洋光、土谷大樹、西尾廣昭
- (15) マウス情動行動に対する末梢神経痛覚異常の影響
横山峻太、土谷大樹、野中千佳、松本直也、西尾廣昭
- (16) ラット培養メサングウム細胞の増殖におけるセロトニン系薬物の影響
岡田智行、土谷大樹、西尾廣昭

第29回広島県薬剤師会学術大会

2008年11月16日 広島市

- (1) 低カルニチン血症時のバルプロ酸の体内動態2
水上皓喜、波多江智美、安田愛美、片山博和

第38回複素環化学討論会

2008年11月21日～23日 福山市

- (1) 2-アザアントラセン誘導体WJ85およびWJ85bの全合成研究
大山佳香、町支臣成、東 修平、日比野俐
- (2) 茶に含まれるガレートカテキン類とカフェインとの相互作用の解明
石津 隆、堤 広之、佐藤 隆、山本英二*

第31回日本分子生物学会年会／第81回日本生化学会大会 合同大会

2008年12月9日～12日 神戸市

- (1) プラズミンによる肝性リパーゼの分泌に対するホスホリパーゼCを介するシグナリング
中村徹也、虻川内理恵、木下千恵美、森田哲生

(2) Dipeptidyl Peptidase III中の亜鉛イオンを銅イオンに置換してもなぜ活性を失わないのか？
廣瀬順造、深澤加與子、北原 卓、池浦知宏、川岡知恵、岩本博行

(国際学会)

20th International Symposium on Medicinal Chemistry

August 31~September 4, 2008 Vienna, Austria

- (1) The enantioselective total synthesis of an antiallergic β -carboline alkaloid, (*S*)-(-)-dichotomine C
Satoshi Hibino, Shiro Watanabe, Kana Ohmura, Junko Nobuhiro, Tominari Choshi, and
Tsutomu Oikawa